

【告示 2006年6月5日付】

(財)日本ボクシングコミッション・日本プロボクシング協会 合同医事講習会

恒例のコミッション・ボクシング協会合同医事講習会を下記の要領で開催いたします。

近年、ボクサーが試合中もしくは練習中に被る怪我のうち「眼」に関わるものが多数見受けられるようになりました。よって今回は「眼疾」をテーマにした講義を眼科専門医を招いて行い、リング事故の統計分析も含め、今後の事故や怪我防止に向けその対応策などを活発に討議して行きます。

また、第2部のトレーナー講習会では、高橋武寛講師による、『テーピングによる怪我の予防・改善について』の講義を予定しております。

ボクシング関係者の積極的な参加・討議を希望します。

〔2006年度コミッション・ボクシング協会合同医事講習会〕

日時 : 平成18年6月26日(月) 13:00~16:00

場所 : 東京後樂園ホール5F展示会場

(第1部) 医事講習会 13:00~15:00

1. 谷 諭コミッションドクター（慈恵医大脳神経外科助教授）

「眼窩底骨折について」

2. 大木 孝太郎 医師（大木眼科院長）

「網膜剥離について」

3. 大槻穰治コミッションドクター（慈恵医大救急部講師）

「リング事故並びに各種統計について」

4. 質疑応答

（第2部）トレーナー講習会 15：00～16：00

1. 高橋 武寛講師（株式会社キネシオ・インストラクター）

「テーピングによる怪我の予防・改善について」

2. 質疑応答